

かけはし

足柄上病院の病院理念

- 「あ」：安全で安心な医療を提供します。
 「し」：社会の要請を担う政策医療を展開します。
 「か」：患者中心の医療を実践します。
 「み」：魅力ある自立した病院を目指します。

..... 新春号（通刊 第66号）

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

2020年は新型コロナウイルス感染症（以下コロナ）拡大という、かつて経験したことがない事態が世界中で発生しました。

足柄上病院では2020年2月初旬に横浜港に着岸したクルーズ船内で発生したコロナ患者さんの受入れを行って以降、多くのコロナ患者さんの治療にあたってきました。コロナが未知の感染症で特効薬がないことや、海外で大勢の方が亡くなっている報道もあり、当時病院内では非常に緊張が高まりました。直接患者を診る医療スタッフは相当な恐怖があったと思いますが、強い使命感を持って立ち向かってくれました。

感染が拡大するにつれて、院内の隔離病床だけでは足りなくなり、一般病床でのコロナ患者対応の必要も出てきました。この際には救急診療をはじめ、通常医療を大幅に縮小せざるを得ませんでした。地域の皆様や近隣医療機関の皆様には多大なご不便やご迷惑をかけてまいりました事を改めてお詫び申し上げます。

第1波が落ち着いた後はコロナ治療に加えて、これまで以上に安全安心な通常医療提供体制を整えております。これからも安心して受診していただけるように努力を続けていく所存です。

さてコロナ拡大のなか、世界では様々な知見が出てきています。巷では血液型で性格の特徴が異なると言われています。A型は几帳面で、O型はおおらかなどといったものです。もちろん医学的な根拠は全くないのですが、血液型とコロナとの

関連を示した論文が世界的な科学雑誌にいくつか報告されています。

中国の武漢、深圳での2,173人のコロナ患者の調査によれば、「O型は感染のリスクが低く、A型は高い」という結果で

した。ほかにもデンマークでは7,422人のコロナ患者調査でも「O型は感染のリスクは低い」という結果でした。さらにイタリア・スペインでの1,670人の重症コロナ患者の調査では、重症化のリスクもO型の人は低い結果が報告されました。いずれも世界的な権威のある科学雑誌に掲載された論文です。私自身はO型なので半信半疑ながら喜んでいました。しかしその後、米国ニューヨークの研究で、「重症者はむしろO型に多く、A、B、AB型の方が少ない」と相反する報告や、マサチューセッツでは「血液型とコロナの関連はない」とする論文を見つけてしまいました。結局のところ、血液型とコロナとの関連は正確にはまだよく分かっていないということです。占い程度に思っておいたほうが良いのかもしれません。私たちは引き続き油断することなく感染予防に努めなくてはなりません。

本邦でもコロナのワクチン接種が近々始まる予定です。今年は人類がこの感染症との戦いに勝利宣言を上げられる年になってほしいと願っています。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



病院長
まき た ひろ ゆき
牧 田 浩 行



あなたの街とのゲートウェイ 泌尿器科医療連携パス

足柄上病院

泌尿器科

わた なべ たけ し ふか ざわ たけ し の むら よう た
渡 邊 岳 志、深 澤 武 史、野 村 洋 太

各地域

医療連携パスとは、病院…医院間を簡単に行き来できるようにするしくみです。今年山手線に49年ぶりの新駅、高輪ゲートウェイという駅が出来ました。ゲートウェイには「玄関」のほか、「いけがきの木戸」などという意味があるそうです。

2020年、足柄上病院は周辺地域の進行性前立腺がんが多い現状を改善するため、前立腺がんの医療連携パス（※）の運用を開始しました。このパスには、当院泌尿器科と皆さんの街を繋ぐ、気軽に出入りできるゲートウェイのようになって欲しいとの思いを込めています。

現在、前立腺がんの罹患数は男性がんの第1位となっており、年々、罹患数が増加しています。前立腺がんは初期にはほとんど自覚症状はありません。進行すると、排尿障害が出現したり、骨に転移したりすると痛みが出現しますが、この場合は進行がん、転移がんの状態と言えます。

前立腺がん患者さんのうち、転移がんの状態で見られる割合は11%で約10人に1人と言われていますが、近年、足柄上病院で診断された前立腺がん患者さんのうち、転移がんだった方の割合は24%と、約4人に1人という結果でした。この数値は全国平均と比べると非常に高くなっていますが、原因としては、単にこの地域の高齢化が進んでいるという問題だけではなく、前立腺がん検診の普及が進んでいないことが挙げられます。

2020年に稼働を始めた前立腺がんパスは、近所やかかりつけのクリニックでの前立腺がん検診の受診後に異常があれば、簡単に当院で精密検査が受けられるようなシステムとなっています。仮に病気が発見されても、治療が軌道に乗れば、患者さんの通院の負担を少しでも減らせるよう、普段の診療（薬の処方、検査、管の交換など）を地域の先生にお願いすることも可能です。当院で責任を持って治療を継続するために、皆さんには年1～2回、当科へお越しいただくほか、地域の先生方から救急の受け入れを要請されれば、当科でしっかり対応します。

このパスによって、当科と地域の先生方との結束を揺るぎないものとし、皆さんを地域ぐるみで支えていければと願っております。

前立腺がんは年齢とともに罹患率も上がるため、50歳以上の方には検診を受けることが推奨されています。前立腺がんは、早期発見、早期治療を行うことにより十分に根治を目指す病気です。

我々泌尿器科がまずできることは、地域住民への前立腺がん検診の周知と普及だと考えています。

先日、このパスのご説明のため各地域の先生方を訪問し、多くの先生方から、快く泌尿器科の治療、処置などを引き継いで下さるとの力強いお言葉を頂きました。おしっこの症状は、まずお馴染みの先生に御相談ください。

そして足柄上病院にご来院の際には、泌尿器科、地域医療連携室、看護師、事務など、多くの仲間で力を合わせ、皆さんをお迎えます。

（※医療連携パス…かかりつけ医と当院の医師が共同して、共通の治療計画書により患者さんの治療を行うシステムのこと）



新たな 看護師 の役割

看護師の『特定行為の実践に取り組んでいます！』

特定行為研修修了看護師

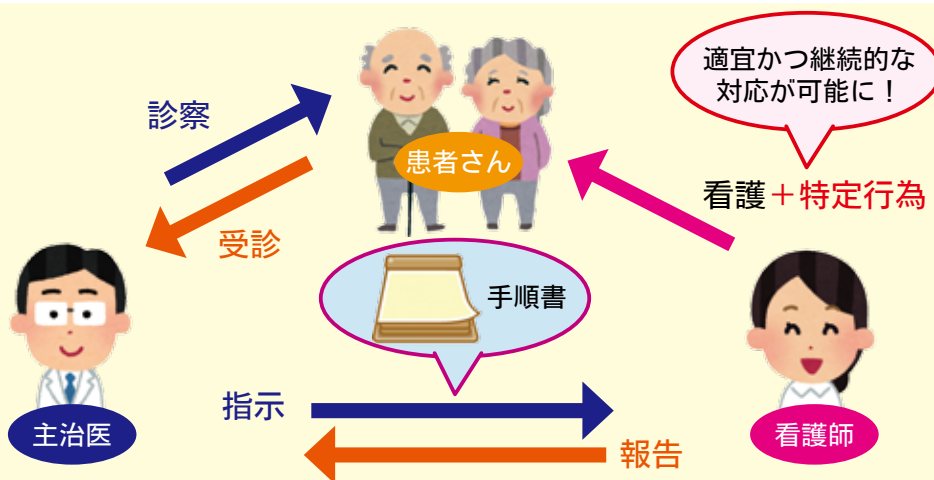
か がわ ひと み まる おか よう こ
香川 仁美、丸岡 陽子

特定行為とは、特定行為研修を修了した看護師が、高度かつ専門的な知識及び技能が必要な21区分38行為を医師の手順書に基づいて実施するものです。

当院では、地域の高齢化が進み、複雑化・高度化する地域住民の医療ニーズに積極的に応えるため、研修を終えた2名の看護師が2019年11月より、胃ろうや膀胱ろうカテーテルの交換、抗精神病薬の臨時投与など、4区分8行為を実践しています。

特定行為研修で、医学的根拠に基づいた臨床推論や臨床薬理、身体観察とその評価を学んだことにより、看護の視点に加えて、医学の視点から患者さんの疾患・症状を理解することができるようになりました。医学用語をわかりやすく患者さんや家族に説明し、疾患・症状・生活を含めた患者さん、家族の全体像を把握・分析できるようになり、より良いケアが提供できるようになったと感じています。また、胃ろう等のカテーテルの交換は少なからず痛みを伴うもので、患者さんの状態や痛みの感覚等、苦痛の緩和を考えながら実践しています。

特定行為を行う看護師は、患者さんの意思や療養生活に則した適宜かつ継続的な医療・ケアを提供することを目指し、チーム医療の窓口として、医師や多職種、地域の医療機関との連携を推進することが期待されています。患者さんの早期回復と安心・安全な医療の提供に貢献できるように取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



■当院が行っている特定行為の一覧

#	特定行為区分	特定行為	特定行為研修修了看護師
1	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューレの交換	丸岡陽子
2	ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	丸岡陽子
		膀胱ろうカテーテルの交換	
3	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	丸岡陽子 香川仁美
		脱水症状に対する輸液による補正	丸岡陽子 香川仁美
4	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与	香川仁美
		抗精神病薬の臨時的投与	香川仁美
		抗不安薬の臨時的投与	香川仁美

『救急外来』

救急外来 救急看護認定看護師

いく た まさ み
生 田 正 美

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当院の救急外来は大きく様変わりしました。

救急外来では、従前より、様々な容体の患者さんを24時間体制で受け入れています。新型コロナウイルス感染が疑われる患者さんも、それ以外の患者さんも、今までと同じように安全に受け入れを行うためには、どのような対応をすべきか、スタッフ一同、徹底的に検証を行いました。今回、救急外来で行っている患者さん対応について、ご紹介いたします。

救急外来では、現在、すべての患者さんに対し、来院前に体温測定をお願いしているほか、体調についての質問、さらには、病院到着後も付き添いのご家族様を含め、改めての体温測定をお願いしています。

医師の判断で、新型コロナウイルス感染が疑われる場合は、専用の診療スペースでの診療となります。陰圧装置を備えたこの診察スペースで治療に当たることで、他の患者さんや医療スタッフへの感染のリスクを最低限に抑えています。



専用診療スペース外観



専用診療スペース内

診療が終了すると、次は清掃・消毒です。接触感染を防ぐため、医療スタッフは診療が行われるごとに、体温計や聴診器、心電図装置等の医療機器、パソコン、壁、床等を徹底的に拭き上げます。この清掃と消毒作業は、一回に20分ほどを要しますが、次の患者さんを受け入れるための大切な作業ですので、迅速かつ丁寧に実施することを心がけています。

専用スペースを担当する医師・看護師は感染を防ぐための防護具を着用します。N95マスクをはじめ、防護服、キャップ、手袋、フェイスシールドなど、すべてを着用するのに5分ほどの時間を要します。

この防護服は大変暑く、医療者はいつも汗だくで診療しています。

私たち医療スタッフにとっては、すっかり見慣れた風景ですが、初めて専用の診察スペースや医療者の感染防御具を目の当たりにした患者さんは、「そんなに私は重症なの…?」「こんなに隔離されるなんてショック…」とおっしゃる方もいらっしゃいます。患者さんの立場から考えたら、非日常の光景であり驚かれることばかりとは思いますが、当院では今までどおり、患者の皆さんに安心な医療を提供するため、感染リスクを徹底防御するよう心掛けています。

防護具を着用した看護師



『発熱外来』

院長補佐 くに し よ う す け
國 司 洋 佑

従前より、当院の一般外来には、インフルエンザや熱中症など、様々な発熱を伴う患者さんがいらっしゃいます。万が一、これらの患者さんの中に、新型コロナ陽性者がいた場合のリスクを考え、当院では、発熱患者さんに対しては、原則として一般外来とは隔離されたスペースで診療を行っております。

発熱外来は平日午前中に専用スペースで診療を行っております。

前述の救急外来と同様、「受診前の対応測定のお願い」や「消毒と清掃」など、様々な工夫を凝らしていますが、今回は特に、「陰圧装置を備えた専用診療スペース」と「患者さんの出入り口が変わらない工夫」の2点について、お話します。

< 陰圧装置を備えた専用診療スペースの設置 >

当院の発熱外来は3号館3階の1区画をリフォームして使用しています。空気が発熱外来の外側に漏れないように、診察室をはじめ、外来スペース全体も陰圧構造となっております。診察・PCR検査に伴って排出される病原体が診察室の外に漏れないことで、院内感染のリスクを限りなく低減させました。

< 患者さんの出入り口が変わらない工夫 >

病院の構造、機能、稼働状況などの関係もあり、発熱外来は、現在、病棟の3号館3階部分に設置されております。発熱患者さんが院内を移動する際の動線については細心の注意を払っており、平日の8時半から発熱外来診療中の時間は、他の患者さんと接触しないよう、3号館3階にあるエレベーターのうち1つを発熱外来専用エレベーターとしました。皆様にはご不便をお掛けしますが、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

現在、発熱をきたした方は健康面においても社会面においても強いストレスにさらされます。発熱している患者さんも、発熱していない患者さんも、安心して病院にかかれるようwithコロナ時代に適応した設備を今後も整えていく所存です。



専用エレベーターで3階へオレンジのラインに沿って進めば

発熱外来診療室

足柄上病院はC T 2 台体制に！

必要な検査を、必要な時に、安全・安心に、最新鋭の装置で。

放射線科 よし た てつ お
吉田 哲雄



2020年は新型コロナウイルスの世界的な蔓延で記憶される年でした。

これまで足柄上病院のC T装置は1台だけで、新型コロナウイルスの患者さんや発熱の患者さんのC T検査も、一般の患者さんのC T検査もこの1台で行ってきました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い様々な問題が生じ始めました。新型コロナウイルス感染の有無を確認するためにC Tの使用頻度が大幅に増加したほか、検査にあたっては、感染を広げないための対策として、対象の患者さんが一般の患者さんと交わらないよう、C T室への通路の通行止めをしたり、装置に覆いをかけたり、検査終了後に入念な除菌・清掃を行うなど、今まで以上に必要な作業が増え、時間もかかるようになったのです。

「感染防御の徹底」と「患者さんの待ち時間短縮」…これらを実現するためには、現行のC T 1 台体制では、どうしても無理が出始めていました。

ちょうど今年度は、設置後10年を経過する当院のC Tの更新の時期に当たっていました。そこで私たちは、このC Tの更新と同時に、新型コロナウイルスの患者さんや発熱・救急の患者さんにも対応できるよう、C T装置の追加導入を提案しました。この希望がかなえられ、今回C Tを2 台同時に購入することとなったのです。

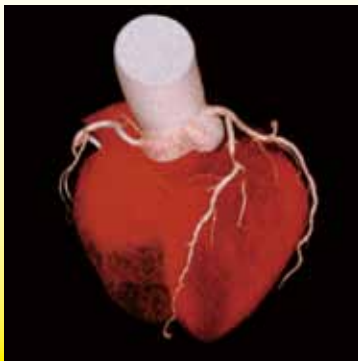
1 台目のC Tは11月の末に設置が終了し、12月より診療に使用しています。このC Tは80列の多列型C T装置です。多列というのはX線が体を透過した変化を測定する素子の列が多数あることを示します。4列、16列、64列…320列とあるのですが、64～80列は病院レベルでは標準的と言えます。

この80列のC Tは第7 撮影室に設置されました。急患室から近いこと、放射線科の他の撮影室と区切りやすい位置にあることから、主に発熱されている患者さんや救急の患者さんを対象に使用していきます。



第7 撮影室の80列C T
Aquilion Lightning Helios Editon
(キャノンメディカルシステムズ株式会社製)

2 台目のC Tは旧C T室に設置します。年末に工事を開始し1 月半ばから運用されます。このC Tは320列の高機能装置です。1 台目のC Tの4 倍の素子を持っていて体の高精細な画像を高速に作成できます。心臓や脳は320列16cmに収まるので、体を移動させることなくX線の発生装置の1 回転で全体を撮影できます。体を固定した状態で造影剤を注入しながら連続的に撮影すると、心臓の動きや血管の状態を観察することができ、動脈から細い管を入れて行う心臓カテーテル検査や脳血管撮影に匹敵する画像が得られるのです。



320列C T Aquilion Oneで撮影したC T画像から作成した心臓の冠動脈の立体画像。動脈が細くなったところがわかります。

© キヤノンメディカルシステムズ株式会社

なお、普通のC Tでは人工関節など大きな金属があると画像が乱れてしまうのですが、この2台のC T装置は、どちらもAI技術を応用してきれいに描出できます。さらに従来の装置の半分以下まで放射線被曝の軽減が可能になりましたから、安心して検査が受けられます。

1月中旬から、当院におけるC Tの2台体制がいよいよスタートします。「発熱患者さんや救急の患者さんに対応できるC T装置」と「最新鋭のC T装置」…この2台のC Tで、必要な患者さんが、必要な時に、安心して最新鋭の検査を受けていただくことが可能となりました。

足柄上病院では、今後とも安全・安心・良質な医療を提供し、地域の皆様の健康を支えてまいります。

320列C T Aquilion One-Nature editionで撮影した画像。
両側の股関節が人工関節になっています。



●左は従来のC T画像
骨盤の真ん中の臓器の状態が全くわかりません。

© キヤノンメディカルシステムズ株式会社



●右は新しいC T画像
黒い筋がなくなって臓器が観察できます。



320列C T Aquilion One-Nature editionで撮影したC T画像

放射線の量を減らしただけでは左のようにざらついた画像になっています。新しいタイプのC Tは同じレベルの放射線量で右のように良い画像が得られ、小さな病変も分かりやすくなります。

© キヤノンメディカルシステムズ株式会社



第7撮影室の80列C T

Aquilion Lightning Helios Editonと放射線科医師・技師・事務職員ほか。

私たちが検査をしていきます！

国民の医療安全に対する理解を深めることを目的に、厚生労働省が医療安全週間を設けるよう定めています。足柄上病院では11月24日～30日の7日間を医療安全週間とし、院内各部門の医療安全の取り組みを展示しました。今年はコロナの影響もあり、残念ながらイベントは自粛いたしましたが、近隣の小中学校に医療安全絵画ポスターを募集したところ、とても素敵な応募作品が届きました。

ご応募いただいた作品は院内に展示させていただき、その中から病院長賞、副院長賞、看護局長賞を選出いたしました。病院にお見えになる患者さん・ご家族だけでなく、働く職員も心のこもった素敵な作品に励まされました。

= ご応募いただいた10作品 =

ご参加いただきありがとうございました！



現在、通常診療を再開しています。

当院では6月中旬より通常診療を再開しています。
病院入り口では来院者全員の体温測定を実施しています。
引き続き院内でのマスク着用や面会禁止等、新型コロナウイルス・インフルエンザなどの感染症対策へのご理解ご協力をよろしくお願い致します。

募集…「かけはし」に掲載する広告を募集しています。詳しくは地域医療連携室まで。

発行：神奈川県立足柄上病院 〒258-0003 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領866-1

(TEL) 0465-83-0351 (FAX) 0465-82-5377

<http://ashigarakami.kanagawa-pho.jp/>

編集：神奈川県立足柄上病院経営企画課 (内線) 5520